

【第1編】

山形市交通結節点整備基本構想策定の背景・目的

第1章 基本構想策定背景・目的

1-1 基本構想策定の背景

本市では交通軸*と交通結節点*による公共交通ネットワーク*を構築し、自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動できる環境の実現を目指し、交通結節点の整備に向けた検討を進めている。令和4年6月には「山形市交通結節点整備方針*」を策定し、交通結節点候補地*を市全域から抽出し、6箇所の整備優先箇所*を選定した。

整備優先箇所のうち周辺道路の整備やモデル事業*の検討等、具体的な整理が行われている「楯山駅」、「馬見ヶ崎・嶋エリア」、「イオンモール山形南付近」については、各整備優先箇所における移動実態や鉄道・路線バスの移動需要の予測から、交通結節点に必要と考えられる機能及び当該機能の整備に関する進め方等を取りまとめた「山形市交通結節点整備基本構想」を策定する。

残りの「蔵王駅」、「山寺駅」、「新駅」については、関連する取組みや関係機関との協議を優先して整理することとし、今後の進め方については下記のとおりである。

なお、本基本構想は、今後の社会情勢の変化や上位関連計画の改定等の状況を踏まえ、必要に応じて見直しを行うものとする。

蔵王駅	バリアフリー基本構想を策定することにより、バリアフリー整備対象駅になり得ることから、駅舎のバリアフリー環境整備について鉄道事業者と協議を進めていく。
山寺駅	山形市の二大観光地である山寺への玄関口となる山寺駅のバリアフリー環境整備について、仙山線の利用促進及び利便性向上プロジェクトに基づき鉄道事業者と協議を進めていく。
新駅	将来的な新駅との接続を見据えた南部循環バスを導入するとともに、新駅の整備可能性を検討するうえで必要な調査等を踏まえ鉄道事業者と協議を進めていく。

表 1-1 「山寺駅」「蔵王駅」「新駅」に係る今後の進め方

1-2 基本構想の位置付け

基本構想は、上位・関連計画等との整合性を確保する。

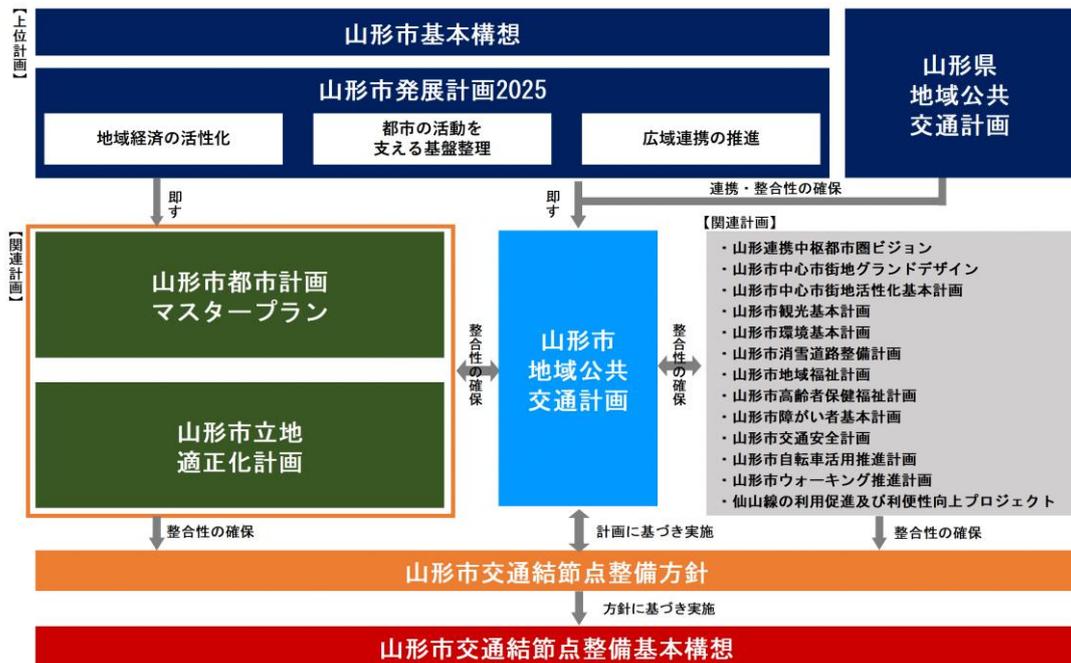


図 1-1 本構想の位置付け

交通軸、交通結節点、公共交通ネットワーク、山形市交通結節点整備方針、交通結節点候補地、整備優先箇所、モデル事業：巻末に用語解説